

## 平成 28 年度 第 3 回理事会

日 時 平成 28 年 6 月 10 日（金） 16：00～

場 所 特別会議室（つくば市）

### I. 議 題

1. 中期計画、年度計画に係わる自己評価書の提出について

### II. 報 告

1. 職員採用スケジュールについて
2. 機構発足に向けた課題への対応について
3. 平成 28 年度リスク管理の実施について
4. 森林整備センターの平成 28 年度春の地域活動について
5. 熊本地震関連について
  - （1）平成 28（2016）年熊本地震による山地災害への調査対応（報告）
  - （2）平成 28 年（2016 年）熊本地震 建築物等被害調査
6. その他

理 事 会 資 料  
平成 28 年 6 月 10 日

中期計画、年度計画に係る自己評価書の提出について

独立行政法人通則法（平成 11 年法律第 103 号）第 35 条の 6 第 1 項及び第 3 項に基づき、国立研究開発法人森林総合研究所の平成 27 年度に係る業務の実績に関する自己評価書及び中期目標の期間における業務の実績に関する自己評価書について、別添資料のとおり農林水産大臣に提出してよろしいか。

なお、自己評価書については別途公表することとされており、公表されるまでの間、理事会資料としては非公表扱いとしてよろしいか。

（参考）

（各事業年度に係る業務の実績等に関する評価等）

第三十五条の六 国立研究開発法人は、毎事業年度の終了後、当該事業年度が次の各号に掲げる事業年度のいずれに該当するかに応じ当該各号に定める事項について、主務大臣の評価を受けなければならない。

一 次号及び第三号に掲げる事業年度以外の事業年度 当該事業年度における業務の実績

二 中長期目標の期間の最後の事業年度の直前の事業年度 当該事業年度における業務の実績及び中長期目標の期間の終了時に見込まれる中長期目標の期間における業務の実績

三 中長期目標の期間の最後の事業年度 当該事業年度における業務の実績及び中長期目標の期間における業務の実績

3 国立研究開発法人は、第一項の評価を受けようとするときは、主務省令で定めるところにより、各事業年度の終了後三月以内に、同項第一号、第二号又は第三号に定める事項及び当該事項について自ら評価を行った結果を明らかにした報告書を主務大臣に提出するとともに、公表しなければならない。

理 事 会 資 料

平成 28 年 6 月 10 日

平成 29 年度における新規採用について（案）

（ 研究・育種分 ）

1. 一般職員

- （1）採用予定日      平成 29 年 4 月 1 日
- （2）試験方法          森林総合研究所の独自試験による（学科、作文、面接）
- （3）配属予定          森林総合研究所本支所等
- （4）スケジュール

区 分	平成 28 年度採用	平成 29 年度採用
公募開始	平成 27 年 7 月 17 日	平成 28 年 8 月中旬
応募〆切	平成 27 年 8 月 31 日	平成 28 年 9 月中旬
記述試験	平成 27 年 9 月 17 日	平成 28 年 9 月下旬
面接試験	平成 27 年 10 月 13 日	平成 28 年 10 月下旬
内定通知	平成 27 年 10 月 20 日	平成 28 年 11 月上旬

2. 研究職員

- （1）採用予定日      平成 29 年 4 月 1 日
- （2）試験方法          研究業績等の書類審査による
- （3）配属予定          森林総合研究所本支所等
- （4）スケジュール    一般職員と同様  
（ただし、記述試験を書類審査と読み替える。）

理 事 会 資 料

平成 28 年 6 月 10 日

**機構発足に向けた課題への対応について**

国立研究開発法人森林総合研究所法の一部改正を含む「森林法等の一部を改正する法律」は、第 190 回通常国会にて 5 月 13 日に成立、同 20 日に公布され、平成 29 年 4 月 1 日から施行されることとなりました。

このため、29 年度への円滑な移行に向けて、以下の体制で法人ガバナンス、規程類、広報資料等について広範な検討を行うこととしています。

**【実施体制】**

- 1 理事長の下、各理事と諮りつつ、企画・総務・森林保険担当理事が総括
- 2 事務局は総括審議役（本所）の下、総合調整室が担当、各センターとの連絡調整は総括審議役が担当
- 3 組織横断的なプロジェクトチームを編成して検討を実施
- 4 プロジェクトチームメンバー
 

チーム長	総括審議役（本所）
副チーム長	総合調整室長
チーム員	監査室
	コンプライアンス推進室
	総合調整室
	企画部
	総務部
	から 5 名のチーム員を選抜
	（育種センター連絡調整窓口）
	（整備センター連絡調整窓口）
	（保険センター連絡調整窓口）

※チームは本所がチーム長、副長を入れて 7 名、それ以外に各センター窓口 1 名

理 事 会 資 料  
平成28年6月10日

平成28年度リスク管理の実施について

平成28年度のリスク管理の実施については、5月20日（金）に開催された平成28年度第1回リスク管理委員会で決定されました。その概要は別添のとおりです。

## 平成28年度第1回リスク管理委員会議事概要

1. 日時 5月20日(金) 16:45～17:20
2. 場所 特別会議室
3. 出席者  
委員長 沢田理事長  
副委員長・リスク管理総括責任者 桂川理事(企画・総務・森林保険担当)  
リスク管理責任者 田中理事(研究担当)  
リスク管理責任者 奥田理事(森林業務担当)  
三木理事(法令遵守担当)  
鈴木監事  
平川監事  
上野総括審議役(本所)  
リスク管理責任者 大貫総括審議役(森林保険センター)  
國井総括審議役(森林整備センター)  
金山総括審議役(森林整備センター)  
松本総務部長  
亀田総合調整室長  
指名委員 河野審議役  
指名委員 川野審議役  
  
欠席 渡邊理事(育種事業・森林バイオ担当)  
  
(事務局) 上野総括審議役(本所)  
山本コンプライアンス専門役(本所)  
大寺リスク管理室長(森林保険センター)  
益子企画管理課長(森林整備センター)

### 4. 議題

1. 委員の指名について
2. 平成27年度第2回リスク管理委員会議事概要
3. 平成28年度リスク管理計画における重点リスクの審議
4. 平成28年度の実施スケジュール
5. その他

### 議事概要

#### 1. 委員の指名について

リスク管理規程第6条第4項の規定のに基づき、林木育種センター審議役及び森林整備センター審議役(監査・リスク管理担当)の2名について、指名委員として審議に加わることが求められ、その承認がなされた。

#### 2. 平成27年度第2回リスク管理委員会議事概要

議事概要が報告された。この関連で、PDCAサイクルを確保するため、取組結果の取りまとめに留意すべきとの意見が出され、平成２８年度に向けて取り組むこととされた。

### ３．平成２８年度リスク管理計画における重点リスクの審議

リスク管理計画における重点リスクについては、昨年度の項目を基として、平成２８年度を始期とする中長期計画の記載内容も勘案した形で作成された原案について提案・審議がなされ、原案どおり承認された。

また、昨年度との変更点として、各リスク管理実施責任者がリスク因子等の特定・評価をもとにリスク対応が進められるようリスク管理計画表に「リスク因子キーワード」欄と「関連する法令等」欄を追加した様式が標準例として諮られ、原案どおり了承された。

なお、来年度、水源林整備事業が本則化されることとも念頭におき、必要に応じて平成２９年度以降の計画等に反映されるよう留意すべきとされた。

### ４．平成２８年度の実施スケジュール

今年度リスク管理計画のスケジュールについて提案・審議された。

決定リスク対応方針のリスク管理委員会メンバーへの報告（７月）について追記すべき等との意見が出され、これらを反映したうえで承認された。修正後のスケジュールは以下のとおり。

- １．５月２０日（金）（第１回リスク管理委員会の開催）
  - ・重点項目の決定
- ２．５月下旬
  - ・重点項目に対する各組織へリスク管理計画の作成指示
- ３．６月上旬
  - ・各部署の長（リスク管理実施責任者）によるリスク対応方針（案）の提出
- ４．６月中旬
  - ・リスク管理責任者によるリスク対応方針の決定及び事務局への提出
- ５．７月
  - ・リスク管理委員への決定リスク対応方針の報告
- ６．平成２９年１月末
  - ・各部署の長（リスク管理実施責任者）による実施結果（実施状況）の報告及びリスク管理責任者による集約
- ７．２月（第２回リスク管理委員会の開催）
  - ・「実施状況」の点検及び次年度に向けた課題等の整理

### ５．その他

特になし

## 理 事 会 資 料

平成 28 年 6 月 10 日

## 森林整備センターの平成 28 年度春の地域活動について

国立研究開発法人森林総合研究所 森林整備センターでは、水源林の重要性や水源林造成事業の役割等を広く国民に周知啓発し、理解を深めていただくため、各地において植樹祭、森林教室等を開催するとともに、地域の緑化行事等に積極的に参加して、地域の方々との連携を推進しています。

平成 28 年度春(4 月～6 月)における主な取組状況は、以下のとおりです。

開催日	行事等	場所	関係機関
4 月			
29 日	島根県「森の誕生日 2016」	島根県松江市	参加(松江事務所)
29 日	森林ボランティア協働の森づくり事業 【別添 1】	高知県梺原町	参加(高知事務所)
5 月			
14・15 日	みどりとふれあうフェスティバル	東京都千代田区	参加(本部)
14 日	愛知県植樹祭	愛知県北名古屋市	参加(中部整備局)
14 日	森の市	秋田県秋田市	参加(秋田事務所)
22 日	とやま森の祭典 【別添 2】	富山県入善町	参加(富山事務所、中部整備局)
28 日	群馬県植樹祭	群馬県前橋市	参加(前橋事務所)
6 月			
4 日	やまがた森の感謝祭	山形県遊佐町	参加(山形事務所)
5 日	全国植樹祭	長野県	参加 (本部)
5 日	フラワーグリーンフェア	福井県坂井市	参加 (福井事務所)
18 日	JT の森 森林保全活動	北海道積丹町	参加 (札幌事務所)
19 日	森林教室	宮城県仙台市	主催(東北北海道整備局)
24 日	森林教室 【別添 3】	京都府京丹波町	主催(近畿北陸整備局) 協力(関西支所・京丹波森林組合)



## 「梶原町森林ボランティア協働の森づくり事業」に参加

当事務所は、平成 28 年 4 月 29 日（金）に高知県高岡郡梶原町で開催された「森林ボランティア協働の森づくり事業」に参加しました。

この事業は、梶原町が町有林内で毎年行っているもので、パートナーズ協定を結んでいる矢崎総業株式会社をはじめ、県内外から集まった森林ボランティアの皆さんが、森林での実際の作業体験を通して、森林・林業の現状を理解していただくとともに、森林や清流の大切さについて考えていただくことを目的として実施しています。

当日は、前日までの大雨が一転、天候に恵まれ、澄んだ青空と新緑の中、約 200 名の森林ボランティアの皆さんが集まりました。

開会式では、梶原町長の挨拶、記念植樹と続き、当事務所による安全面のサポートや伐採の作業指導の下での森林ボランティアの皆さんによる、天然萌芽林の整理伐作業が行われました。

のこぎりやナタを手に、最初は慣れない手つきで、どれを切っても大丈夫か聞きながら、恐る恐る不要木を切っている様子でしたが、終わる頃になると、どれを伐ったらいいいのか聞かなくても、どんどん伐れるようになっていました。



次第に、林内が明るく見通しがよくなっていく様子に、参加した皆さんも笑顔で、奥四万十の山を満喫して達成感を得られているようでした。

当事務所では、今後もこのようなイベントへ積極的に参加し、地元の皆様との交流を深め、森林・林業の大切さや事業についての P R に取り組んでまいります。



## 「第 17 回とやま森の祭典」に参加しました

平成 28 年 5 月 22 日 ( 日 ) に魚津桃山運動公園にて、森林の公益的機能や森林整備の必要性についての理解を深めることを目的として「第 17 回とやま森の祭典」( 植樹等及び各種イベント ) が開催され、森林整備センター富山水源林整備事務所は、この祭典に参加しました。

当日は、天気も良く、県下の花とみどりの少年団員や森林ボランティア、農林漁業関係者ら約 3 千人が参加し、とても活気あふれる祭典となりました。

私たちは、この祭典の趣旨を踏まえ、水源林造成事業や森林の役割に関するパネルを展示して、参加者に森づくりへの理解を深めていただくとともに、丸太切り競争、木製コースターを使った木工教室や木偏の漢字当てクイズを行ない、森林に対して関心を持っていただくことができました。

今後も県民の皆様、水源林造成事業の重要性や必要性について理解を深めていただくよう取り組んで参ります。



丸太切り競争の様子



木偏の漢字当てクイズの様子

【別添 3】

プレスリリース

## 丹波ひかり小学校で『森林教室』を開催します



平成28年6月3日

国立研究開発法人森林総合研究所  
森林整備センター近畿北陸整備局

### 概要

去る平成23年11月に、京丹波町実勢地区内の森林総合研究所 森林整備センター近畿北陸整備局（以下、「近北整備局」という。）が実施している水源林造成事業の分収造林地において『国際森林年「みんなで創る水源の森林」植樹祭』を実施しました。

近北整備局ではこれを契機に、森林総合研究所関西支所及び京丹波森林組合との3者で3年前から丹波ひかり小学校のご協力の下、4年生を対象に総合学習の一環として、同校内で森林の果たす役割や植物の勉強などを通じて、未来を担う子供たちにもっと森林を身近に感じてもらうことを目的として『森林教室』を開催しています。

今年も、昨年に引き続きこの趣旨に沿って、ひかり小学校4年生40名を対象に下記のとおり『森林教室』を実施します。

### 記

日 時 平成28年6月24日（金） 10時45分～12時20分

場 所 京都府船井郡京丹波町曾根宮ノ浦戸麦54  
京丹波町立丹波ひかり小学校

対象児童 丹波ひかり小学校児童 40名

### 実施内容

- （1）森林の役割等についてパワーポイントを用いて学習
- （2）京丹波森林組合の協力により、町の木である「イチョウ」の植樹
- （3）校内周辺の樹木の高さ等を器具を用いて測る「木の身体測定」

問い合わせ先 国立研究開発法人森林総合研究所 森林整備センター  
近畿北陸整備局 総務課長 打越 正保  
〒600-8372 京都市下京区五条通大宮南門前町480番地  
TEL (075) 278-8855



理 事 会 資 料  
平成 28 年 6 月 10 日

## 平成 28(2016)年熊本地震による山地災害への調査対応(報告)

森林防災研究領域・九州支所

### ○現地調査の経過

- 4 月 15 日 九州局のヘリ調査に同行(九州支・黒川)。この時点での山地斜面の変状は認められず。
- 4 月 18 日 16 日の本震後の九州局ヘリ調査に同行(同上)。阿蘇地域を中心に熊本・大分・宮崎県で多数の崩壊を確認。
- 4 月 19 日～ 九州局、熊本県からの依頼により、阿蘇地域等での現地調査を4回実施(九州支・黒川)。地表面の亀裂の状況や森林との関係に注目しながら調査を継続。
- 5 月 10 日～11 日 阿蘇地域の現地調査(森林防災・浅野、九州支・黒川)
- 6 月 6 日 大分県由布岳の現地調査(森林防災・大丸、九州支・黒川)
- 6 月 7 日 阿蘇地域の現地調査(森林防災・大丸・村上、九州支・黒川)

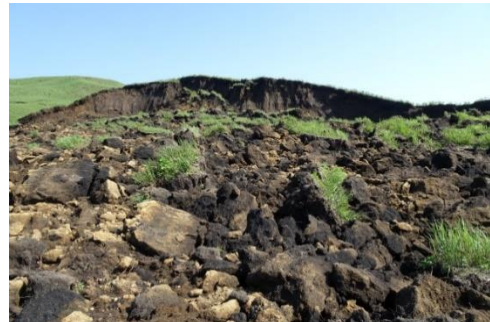
### ○今回の土砂災害の特徴と今後の課題(6 月 9 日時点の所見)

- ・豪雨による斜面災害が繰り返し発生する火山地域で発生した地震災害。
- ・外輪山や中央火口丘の急斜面や中央火口丘の山麓緩斜面で斜面崩壊が多数発生。
- ・当地域の豪雨による崩壊に比べて、崩壊規模の大きなものも見られる。
- ・崩壊地内外に不安定土砂が多数存在するため今後の長期的な危険度評価が必要。

### ○現地状況(撮影:黒川)



内早川地区崩壊地



宇ノ山地区崩壊地



地表面の亀裂(湯浦地区)



かぶと岩展望所

森林総研木材研究部門 平成28年(2016年)熊本地震 建築物等被害調査

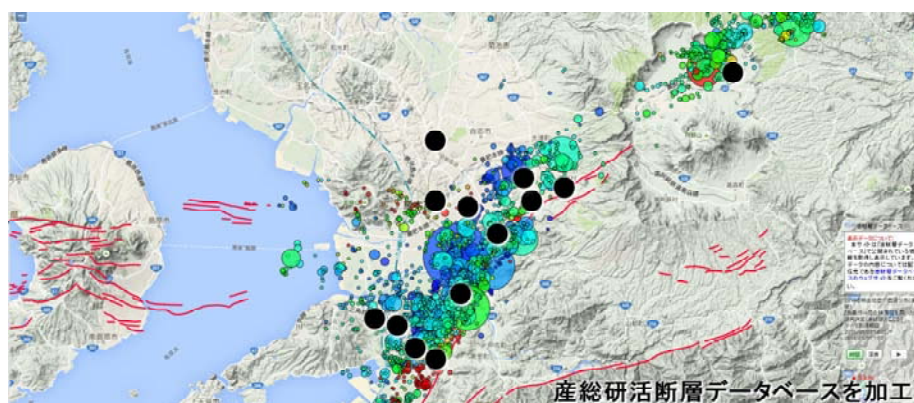
期 間 第1期：平成28(2016)年5月11日(水)～12日(木)  
第2期：平成28(2016)年5月19日(木)～21日(土)

出張者 木材改質研究領域長 大村和香子(第1期)  
構造利用研究領域長 軽部正彦(第2期)  
複合材料研究領域 積層接着研究室 主任研究員 新藤健太(第1、2期)  
構造利用研究領域 木質構造居住環境研究室 主任研究員 野田康信(第1、2期)  
木材改質研究領域 木材保存研究室 主任研究員 神原広平(第1期)

行 程

第1期 5/11(水) つくばー成田ー福岡往復 レンタカーで熊本、城内移動  
調査建物：九州支所、東稜高等学校(熊本市)、生涯学習センター(西原村)、熊本空港ターミナルビル(益城町)  
(同行：池田氏、三井氏(熊本県林業指導所)、坂田雅孝氏(ウッディファーム))  
5/12(木)  
調査建物：宇城彩館(宇城市)、熊本県子ども総合療育センター(熊本市)、花園コミュニティセンター、宇土市役所(宇土市)、城南図書館(熊本市)、益城町木造住宅等  
(同行：荒木氏、平田氏、三井氏(熊本県林業指導所)、坂田氏(ウッディファーム))  
第2期 5/19(木) つくばー羽田ー熊本往復 レンタカーで城内移動  
調査建物：九州支所(熊本市)  
(支所対応：森澤猛、海老原文彦、押田武洋(九州支所)、同行：岡見浩之、坂元浩二(本所))  
5/20(金)  
調査建物：林木育種センター九州育種場(合志市)、阿蘇神社(阿蘇市)  
(育種場対応：北本 浩、森山央陽、寺本 勝、佐藤省治(九州育種場))  
5/21(土)  
調査建物：益城町木造住宅等、布田川断層(益城町)

調査地点



調査結果の概略

平成28年(2016年)熊本地震では益城町において、4/14 21:26と4/16 1:25にそれぞれ震度7が観測された。一連の地震活動で震度7が2回観測された記録はなく、この地域の多くの建物に甚大な被害が発生した。益城町以外の中規模木造建物には大きな被害が確認されていないものの、住宅を含めた木造建築物の被害状況を正確に把握し、その耐震性を検証するためには詳細な調査が必要である。



## 益城町の木造住宅等の被害



写真1 鉄骨造の店舗兼住宅(益城町木山)



写真2 1階が層崩壊した木造2階建(益城町宮園)



写真3 新耐震基準による木造住宅(益城町宮園)



写真4 2000年以降の木造2階建住宅(益城町宮園)

益城町においては、県道28号線に沿った南北約300m×東西約2kmにわたる帯状のエリアで壊滅的な被害が発生していた。写真1の左側の建物は鉄骨造4階建て店舗兼共同住宅の2階部分が層崩壊し、3階以上が2m程度西側にずれていた。奥側に見える木造2階建て店舗の1階部分もつぶれていた。写真2は木造2階建ての1階部分がつぶれた建物の向こうに建物ごと転倒したもの、屋根瓦が落下したものなどが見られ、この地域ではほぼ全ての建物に何らかの被害が発生していた。



写真5 地表に現れた断層の横ずれ(益城町堂園)

建物の多くは西側(写真の右向き)に倒れており、県道28号以南の多くの建物に同様の傾向が認められた。写真3は新耐震基準(1981年)以降に建てられたものと推測される木造住宅だが、3棟全てが同じ南向きに倒壊していた。この場所は南側(写真の左奥)に傾斜しており、地盤による影響が考えられる。写真4はホールダウン金物の設置が義務化された2000年以降に建てられた木造2階建て住宅だが、1階部分が層崩壊しホールダウン金物に接続するボルトが破断していた。この周辺では2000年以降に建築された木造住宅が複数棟、倒壊したことが確認されている。写真5は約2m東西方向にずれた布田川断層である。断層の北側の方が、より建物被害が大きいようであった。

腐朽・蟻害も散見されたが、大きく壊れた木造住宅等に及んでいる生物劣化は限定的であった。薬剤処理された土台もあったことから、各家屋の履歴を精査できているわけではないが、土壌処理も含め、国内他地域よりも高い意識を持って対策が施されていたようであり、耐震性とともに検証が必要であるものと思われた。

## 主要行事(平成28年5月20日～平成28年6月9日)

月 日	行 事 内 容	出 席 者
5月20日(金)	【共】第2回理事会	理事長、企画・総務・森林保険担当理事、研究担当理事、森林業務担当理事、法令厳守担当理事、森林保険センター所長、両監
	【共】第1回リスク管理委員会	理事長、企画・総務・森林保険担当理事、研究担当理事、森林業務担当理事、法令厳守担当理事、各理事、森林保険センター所
26日(木)	(一社)日本写真測量学会第55回定時総会出席	理事長
27日(金)	【育】全国山林種苗協同組合連合会平成28年度通常総会出席	林木育種センター所長
31日(火)	(一社)林業薬剤協会第55回通常総会出席	理事長
6月1日(水)	(一社)海外林業コンサルタンツ協会第38回定時総会出席	理事長
	外務大臣及び茨城県知事共催レセプション出席	理事長
6月2日(木)	(一社)全国林業改良普及協会平成28年度通常総会出席	理事長、研究担当理事
4日(土) ～5日(日)	第67回全国植樹祭	理事長、森林整備センター所長
6日(月)	庁議	理事長
6日(月) ～7日(火)	【保】推進戦略全国ブロック会議(長野)	鈴木監事
7日(火)	JICAモザンビーク研修生表敬訪問	理事長、企画・総務・森林保険担当理事、研究担当理事
8日(水)	熊本地震被害状況視察(九州支所、九州育種場、熊本水源林整備事務所)	理事長、研究担当理事
	日本木材乾燥施設協会講演会出席	企画・総務・森林保険担当理事

※ 【本】:本所、【育】:林木育種センター、【保】:森林保険センター、【整】:森林整備センター、【共】:共通の行事 の略